

2021年 4月 25日

主 日 礼 拝

①8:30am ②10:30 ③1:30pm ④7:00

司 会 ②石井 秀人兄

奏 楽

祈 禱 ②白川 達男兄

賛 美 聖歌652番 ～主は道を造られる～

パウロの祈り②

聖書朗読 ヨハネの黙示録3章1～6節

特別賛美 ①②サインダンス／③④ウエストミンスター合唱団

メッセージ 「わたしは決してあきらめてはいない」
石井 潤 牧師

献 金 聖歌593番 ～アメイジング・グレイス～

祝 禱

お知らせ 〔司会者〕

賛 美 ～見つめ続けます～

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆
《今週のお知らせ》

★礼拝の恵みを感謝します！今週も主の守りと助けをお祈りしています！

☆今週の祈り会は ○早天祈禱会：明 朝 6時、◎祈禱会：木曜午前10時半、
夜7時半（大和教会の祈禱会に参加）。○準備祈禱会：土曜夜8時。

★来週午後の墓前礼拝は中止致します。〈礼拝司会：白川兄／祈禱：寺澤姉〉

☆一年に一回聖書を完読できる！Bible Reading Plan〔4/25－5/2〕

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
旧約	1サム14章	15-16	17章	18-19	20-21	22-23	24-25	26-28
新約	ルカ19:1-27	:28-48	20:1-18	:19-47	21:1-19	:20-38	22:1-23	:24-46
チェック	〇〇	〇〇〇	〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇〇

「わたしは決してあきらめてはいない」

～主の無条件の赦しと、一方的な復活の生命の恵み～

サルデスの町は、難攻不落の土地にあり、高さ400mの高台の上に建てられた要害の町だった。そのため、外敵からの侵入があまりなかったため、安逸をむさぼる傾向があった。しかし、過去2回の思わぬ敵の襲撃に遭い、陥落したことがあった。そのことを思い出させる内容を主は語られた。「わたしは盗人のように来るであろう。どんな時にあなたのところに来るかあなたには決してわからない」と。主のことばを聴いたなら、悔い改めなければならない。生き方、考え方を変えなければならない。主の御心は彼らを滅ぼすことではなく、変えられて、御心に沿う生き方を選び取って欲しいということであり、天に名が記された者としての生き方を歩み続けて欲しいと願っておられるということです。

冒頭に、「生きているというのは名だけで、実は死んでいる」と、表面的には生きているように見えるけれども、その中身は死んでいるという厳しい評価を主から語られています。しかし、これは、主からの励ましに満ちた評価でもあります。実際には死んでいるわけではなく、生きてはいるけれども、もっともっと生き生きと生きることができるということを暗にほのめかしています。主は復活の主であり、真の生命を与えることができるお方でもあります。この地上にあって復活の生命に生きる者として私たちはその栄光を顕わすために生きています。私たちは自分自身でどんなにがんばって生きたとしても、それは死んだ者としての生き方でしかありません。その命を真の生命として生かしてくださることができるのは主イエス様ご自身だけであることを認め、このお方の前で生かされる日々を継続していくことがとても重要です。継続的に信仰は持ち続けていくことが大切です。クリスチャンであるということは、点ではなく、線の生き方ではないなりません。

“今や私たちは、復活の主が聖霊によって天から下って来て、私たち一人一人に「平安があるように！」と言って現れてくださるという恵みを、豊かに経験することが許されています。…。こうして私たちは、復活の主イエスを知ることによって、罪を無条件に赦し平安を限りなく与えてくださる「キリストの愛(それこそ十字架の愛！)」を全身に感じるようになります。それに加えて、天に通じる「道」である復活の主イエスが私たちを共におられることによって、私たちはキリストと共にその「道」を歩むようになります。天に上って行かれる復活の主と共に、私たちも天に上る道を歩んで行くのです。このような恵みの現実のすべてが、「永遠のいのち」であると言ってよいでしょう。〔村瀬俊夫著「復活の光に照らされた十字架の愛」p145より〕”

私たちの人生そのものが主のご復活の生命そのものなのだということです。主は無条件の愛を持って私たちを赦し、一方的な復活の恵みによって永遠の生命をくださいました。その復活の生命が私たちの人生そのものを新たにし、その道を私たちは今、歩んでいるのです！